

《修理前》



発掘調査で出土した肩から上部と底部を根拠として、本来の形状がわかるように完形に復元します。



安定した状態で保管するため、補強を主とした修復をします。



平泉町内から出土している同類資料を参考に、完全な形への復元をします。

《修理例》

x線撮影などで状態を確認したのち、再解体して過去の接着剤や石膏を特殊な溶剤で溶かしながらクリーニング。

その後、改めて接合しなおして、修復・補強や彩色作業を行います。



補強した箇所がわかるように、オリジナルの部分と色のトーンを変えて彩色しました。



接合部分が安定するように、欠損部分に樹脂を充填しました。

《修理完了》



修復作業を終えた資料は、適切な環境で保管しながら、12世紀に繁栄した奥州藤原氏についての理解を深めてもらうための資料として、公開・活用していきたいと考えています。